

12 月 11 日：警戒感は高まるも VN 指数はわずかに上昇 (VN-Index +0.09%)

- VN 指数はビングループ関連の株価が上昇したことから、上昇して取引を開始した。しかしながら全体としては売りが優勢で指数も下落に転じていった。
- 資金流入も弱く、セクターによってもまちまちの展開でその後は横ばいとなった。
- 午後に入ると下げ幅を拡大したが、引け間際に買いが入り、指数は上昇して取引を終えた。
- 警戒感が高まっており、比較的狭いレンジでの動きとなった
- 指数は上昇したが銘柄別では 215 銘柄が上昇、302 銘柄が下落、76 銘柄は変わらずと売りが優勢だった。
- 流動性は 17.6%減の 14.6 兆ドンとなった。

VN30 指数はまちまち (VN-30 +0.22%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、上昇が 12 銘柄、下落が 14 銘柄、変わらずは 4 銘柄となった。
- 銀行セクターは振るわない。BID (-1.19%)、STB (-1.24%)、VPB (-1.02%) などが下落
- 一方、上述したビングループ関連三社以外では BVH (+1.26%)、GVR (+1.50%)、VNM (+1.45%) などが上昇していた。

セクター・個別株の動き

- ベトナムでの半導体の開発に関連するエヌビディア会長との会議に Vingroup と FPT が参加すると期待されていることから、関連銘柄が上昇していた。
- 風力発電の GEG (-1.12%)、BCG (-1.09%)、HDG (-2.09%) は EVN が風力発電所からの電力買取価格を引き上げないと報道され、安い。

- 外国人投資家は 4,280 億ドルの売り越しを記録した。銀行株の VCB、STB、VPB に売りが集中した。一方、VND は買い越しとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。